

健康危機管理や生活習慣病対策などの
日常業務に関する演習教材を用いた保健所職員能力育成事業

研究者 岸本益実（広島県福山地域保健所長）

研究要旨 保健所における日常業務に関する多様な事例を収集したシミュレーション用教材を、ケースメソッド的検討を通して、個別知識を総合的な観点から活用すると共に鋭い洞察力や的確な判断力を養成するための教材として、研修指導方法や研修指導者の役割解説に重点を置きながら CD-ROM の作成・活用を行った。各種研修会や新医師臨床研修の場での本教材の活用が保健所関係者等の判断力・資質向上に寄与することを祈念する。

A．研究目的

保健所職員の判断力・能力向上のための人材育成研修等で活用できるケースメソッド的検討のための教材を作成し、職員の専門性確保・能力向上に資する。

B．研究方法

1．研究班の設置。2．研究会議・打ち合わせ会議の開催。3．人材育成研修事業等の実践。4．メール等を活用した意見調整。5．教材の作成。

C．研究結果

研究班は保健所長、保健所課長、大学研究者の計13名で組織した。研究会議の議論等を踏まえ、今後3年間の事業の進め方検討や年度毎の CD-ROM 教材作成の性格付けを行った。シミュレーション用教材の作成は、ケースメソッド的な考えに基づき行い、個別知識を総合的な観点から活用すると共に、鋭い洞察力や的確な判断力を養成する教材とした。本年度は平成16年度に作成した CD-ROM 教材（保健所機能強化用シミュレーション事例と解説）を研究班員等が様々な場面で活用・実践しながら形成的評価を行い、今年度の教材作成に活かした。

CD-ROM は、大きく分けて理論編（および映像を交えた研修指導等の解説）と実践編（及び映像化された事例）から構成される。

理論編として、ケースメソッドの理論的な紹介説明や研修指導者（ファシリテーター）の役割の重要ポイントやケースメソッド的検討を行う研修会の実際について、ファシリテーターの指導風景やロールプレイの映像を交えて紹介・解説した。

実践編として、シミュレーション用の個別ケースとその各々の活用ガイドのセットを事例として作成・収集した。事例数として、合計36事例を収録した。事例は一般的な形式はもちろん、ドラマ風シナリオ形式、自己開示形式等バラエティーに富んだ形式で収集することとした。事例の内容は、保健所内で完結するものだけでなく、市町村等関係諸機関との連携事例、ヘルスプロモーション活動を強く意識した事例、新医師臨床研修の場で活用しやすい事例等、幅広いものを収録した。一部の事例（2事例）は本格的に映像化し、提示した。

事例は、当事者の立場に立って意志決定を行い参加型の討議が進められる内容であれば、模擬的な架空事例、実際にあった事例の一部加工版、その中間の何れでも構わないこととした。また、事例は用途（組織の活性化、人材育成と活用等）活用対象者（一般職員用、プロジェクトリーダー用、管理者用等）を明らかにし、登場人物の配役や入れ込む問題点数に配慮しながら作成し、事例検討での結論を導くための考え方を重視した解説や実際の顛末（後日談）を添えるなどの工夫も行った。

今年度の CD-ROM 教材は1000枚程度作成し、全国の保健所・支所及び主管部局、保健医療関連教育機関等へ配布した。

D．考察

当研究班で作成する CD-ROM 教材を使用して行おうとしている研修は、従来からのスキル向上研修ではなく、あくまで事に当たった判断力を磨くための人材育成研修である。このような研修のためのプログラムや地域保健分野におけるケースメソッド的検討手法を確立させるため、今後3年間の研究事業を戦略的に進め、OJT で活用できるような人材育成研修手法を開発することが長期的な目標である。こうして開発される人材育成研修を活用していくことで、地方分権時代における「地域技術行政」推進の原動力となると考える。

E．結論

健康危機管理や生活習慣病対策などの保健所日常業務に関するシミュレーション用教材を、研修指導方法や研修指導者の役割解説に重点を置きながら CD-ROM に作成した。人材育成研修等における本教材の活用により保健所関係者が判断力を磨き、保健所職員の資質向上に繋がることを期待する。

F．今後の計画

今後、本教材に収録されているようなシミュレーション用教材を使った研修の実践経験や事例蓄積のシステム化、人材育成研修等で使用できるオリジナルなケースメソッド検討用事例の作成方法に関する教材の作成等に取り組みながら、ケースメソッド的検討手法を確立させていく必要がある。

